

## 令和7年度第3回県央地区保健医療福祉推進会議 議事録

日時：令和8年2月6日（金） 19:00～21:00

方法：WEB会議

### 1 開会

#### (1) 会議の公開について

本日の推進会議は、公開とすることとされた。

### 2 議事

#### 協議(1) 新たな地域医療構想の策定に向けた検討について

○資料説明 説明者：事務局（医療企画課）

資料1 新たな地域医療構想の策定に向けた検討

○資料説明 説明者：事務局（厚木保健福祉事務所）

参考資料1 県央地区病院情報連絡会意見

<委員>

入院・在宅・医療・介護で考えるのであれば会議を小さく考える。病院の構想区域はどう考えるのか。

<委員>

資料では、細分化は難しいとあるが、川を挟んでのエリア細分化が必要。地域ごとに話し合った内容を調整会議で共有し議論することが大切ではないか。

<委員>

構想区域について、病床機能・分化その他の地域の協議の場はどうするか。医療介護二つの事業計画をすり合わせる。

<委員>

二次医療圏であれば、市町村が主体となる。現場の市町村から現状を上げていただき、議論するのが望ましい。そうした議論の際に県が行っているデータ分析を活用していくことが大切なのではないか。

<事務局>

保健医療福祉推進会議と地域包括ケア会議・在宅医療推進協議会で連携を行うなど、既存の会議体を活用して医療・介護の連携を進める。

#### 協議(2) 紹介受診重点医療機関の公表について(令和7年度外来機能報告)

○資料説明 説明者：事務局（医療企画課）

資料2 令和7年度紹介受診重点医療機関の公表について

資料2別紙 外来機能報告の結果（詳細）

(質問、意見なし)

### 協議(3) 「2025 プラン」の変更について

○資料説明 説明者：事務局（厚木保健福祉事務所）

資料3 「2025 プラン」の変更について

参考資料2 第3回県央地区病院情報連絡会意見

○資料説明 説明者：相武台リハビリテーション病院

資料4 2025 プランの変更（相武台リハビリテーション病院）

- ・資料に基づき、回復期への病床転換について説明。経営の問題、医療資源の有効活用のため介護医療院を廃止せざると得ない結論となった。現在医療介護院の利用者について、半数ぐらい転院のめどが立った。急な報告となり申し訳ございません。

(東名厚木病院・愛光病院の2025プランの変更について、質問、意見なし)

- ・相武台リハビリテーション病院の2025プランの変更について

<委員>

今回の資料では、リハビリテーションの待機者・需要等の内容が示されていない。データがあっていない。また、介護医療院の閉鎖は、経営的に見える。地域医師会・病院協会に早めに説明は必要だったのではないかと。前回外来を大幅に減らした時と同じ。きちんと対応してほしい。

<委員>

病床の転換・介護医療院廃止のスケジュールについて、直前に説明に来た。

<相武台リハビリテーション病院>

介護医療院の廃止は、看護師等の人員不足もあり、ベッドの維持が難しかった。回復期病床20名以上の待機者がいる。

<委員>

説明の時間を、なぜ取らなかったのか。

<相武台リハビリテーション病院>

回復期リハ病棟転換については、9月に分かった。反省している。

<委員>

病院の建て替えについて、場所は変わるのか。入院は続けられるのか。

<相武台リハビリテーション病院>

敷地内に建築し、建設中旧病院は継続する。縮小予定の療養病床は、転院調整が必要。

<委員>

結論ありきの話だ。回復リハビリに特化するスタンス、展望を話してもらいたい。

<委員>

慢性期を減らすことに説明がないのは、地域として理解できない。

<委員>

順を追っていかないと、これまで地域で検討してきた地域医療構想が崩れる。今後の対応が難しい。

<会長>

審議内容により、県央地区保健医療福祉推進会議設置要綱第10条に従い、非公開することとする。相武台リハビリテーション病院及び傍聴者は、ご退出ください。

(非公開)

### 3 報告

#### 報告(1) 第3回県央地区病院情報連絡会結果概要

○資料説明 説明者：事務局（厚木保健福祉事務所）

資料5 第3回県央地区病院情報連絡会結果概要

(質問、意見なし)

<会長>

これもちまして本日の議事を終了させていただきます。

(以上)